ARⅡの中間発表会での生徒による相互評価用ルーブリック

平成30年度　ARⅡ　課題研究中間発表会　評価用紙 2年S組(　)号 氏名(　　)				(例) 【生物班】 異種植物間融合の可能性と効果	【地学班】 火山灰の活用	【数学班】 グリコの必勝法	【体育班】 爪の遺伝における規則性	【物理班】 羽の形状と枚数における発電効率について	【化学班】 金属樹成長の謎を探る	【情報班】 認知症予防アプリを作成しよう。	【生物班】 テンセグリティ構造を利用したスマホ首の解明	【物理班】 耐震構造における三角形の研究
	3点 優れている	2点 良い	1点 努力が必要									
主体的な取り組み	テーマを選んだ理由に個人的な重要性、関心、好奇心が示されている。	－	テーマを選んだ理由に個人的な重要性、関心、好奇心が示されていない。	3								
研究内容	研究方法はテーマを扱うために適切であり、十分で適切なデータも収集されている。	研究方法はテーマを扱うために適切であるが、データの収集は十分とは言えない。	研究方法はテーマを扱うためには不適切であり、データ収集も十分とは言えない。	2								
話し方	明瞭で正確かつ的確な話し方である。声量も大きく、楽に聞き取れる。スピードも理解しやすい速さである。	はっきりと話し、ほとんどの語句の発音は正確である。楽に聞き取れる。速さも理解できる速さである。	話し方が不明瞭である。主要な語句の発音が間違っていることが多い。声が小さい、あるいは早すぎて理解できない。	2								
図表等	図表等は発表内容の説明に効果的である。	図表等は研究内容と関連している。	図表等は使われていない。もしくは研究とあまり関連していないものがある。	3								
構成	仮説、方法、結果、考察が論理的に繋がっていて、研究内容がよく理解できる。	仮説、方法、結果、考察の繋がりは完全ではないが、研究内容は理解できる。	仮説、方法、結果、考察が論理的に繋がっておらず、研究内容は理解できない。	3								
質疑応答	質問に対する解答は十分な内容理解基づいている	すべての質問に回答できるが、詳細にというわけではない。	内容理解が十分でなく、質問に正確に答えられない。	2								
			総計(18点満点)→	15								
気づき・感想　(他グループの研究発表を聞いて)				今後研究等に活かしたいこと　(やってみたいこと、注意が必要だと感じたこと等)								

ＡＲⅡの課題研究の中間発表会で利用しました。生徒は、確かな観点と基準を持って相互評価を行うことで、主体的な参加を促すだけでなく、より良い研究発表について考えることができます。さらに、他グループと自らの研究発表を比較することで、客観的に自らの研究について振り返ることもできます。ここでの気づきを、今後の課題研究に活かせるようにしています。